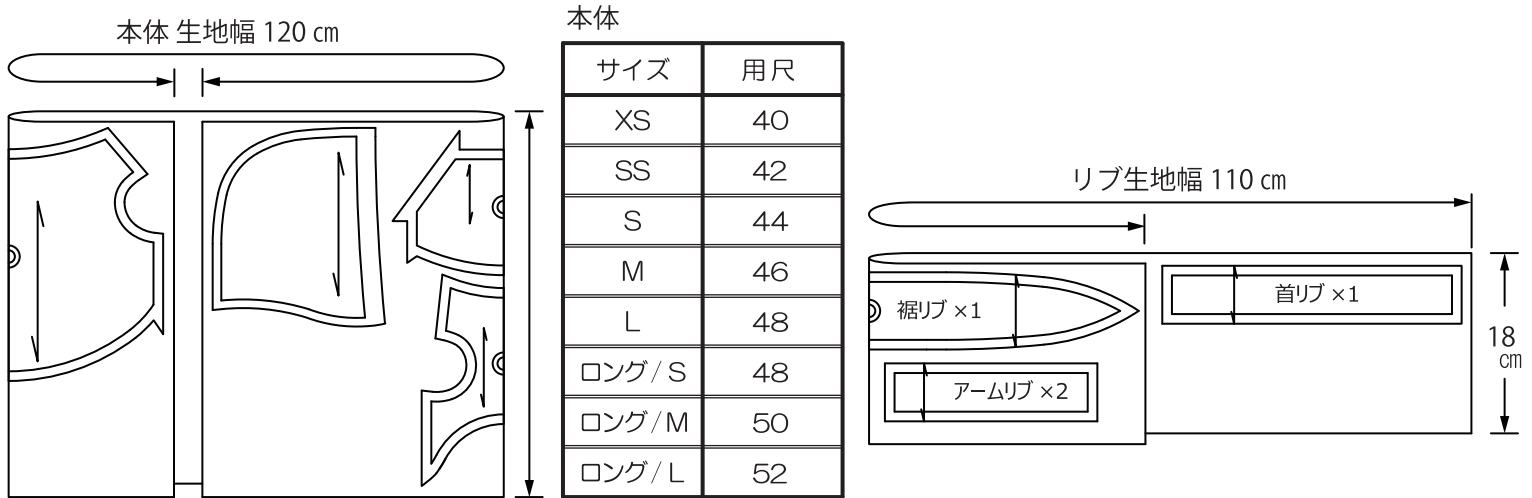


犬服：タンクトップパーカー

カンガルーポケットが可愛いパーカータンクトップです。
 衿のデザインは、フードタイプ・リブタイプの2パターンが制作できます。

[裁断・縫製説明書]



※生地により幅寸法が異なります。

※柄合わせが必要な場合や、生地により水通しで縮む場合が御座います。材料は余裕をもってご準備下さい。

[材料]

本体・フード・ポケット ▶▶ トレーナー素材、厚手天竺などのカット生地

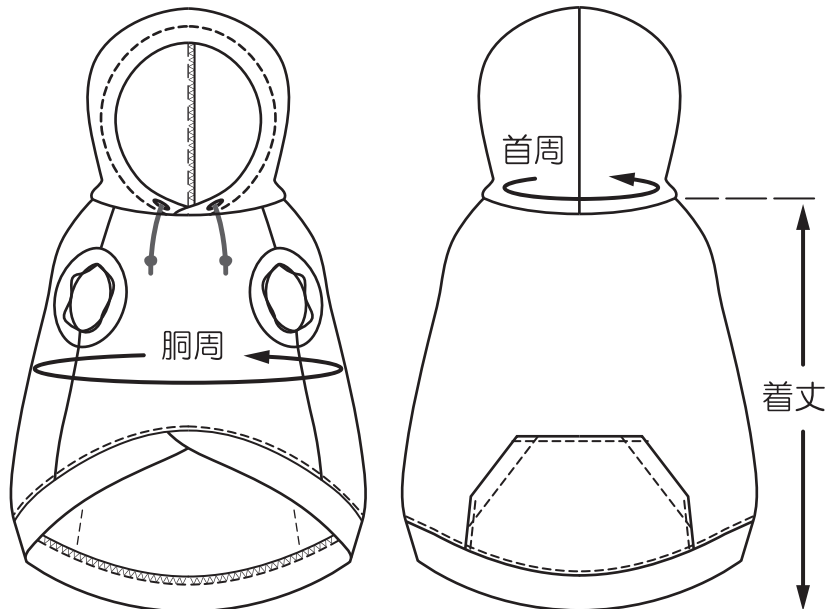
首・アーム・裾 ▶▶ スパンフライスやスパンテレコなどのニットリブ

その他 ▶▶ フード紐（スピンドル紐）

[サイズ]

およその仕上がり寸法 (cm)

サイズ	着丈	胸周	首周
XS	22	32	22
SS	24	37	24
S	26	43	27
M	28	48	30
L	31	53	35
ロング/S	31	40	24
ロング/M	34	45	27
ロング/L	36	50	30



[説明書内 記号について]

~~~~~

ロックミシン・ジグザグ縫い

布端の始末。

重ね複数枚を同時に始末する場合有り。

○ ピン・合印

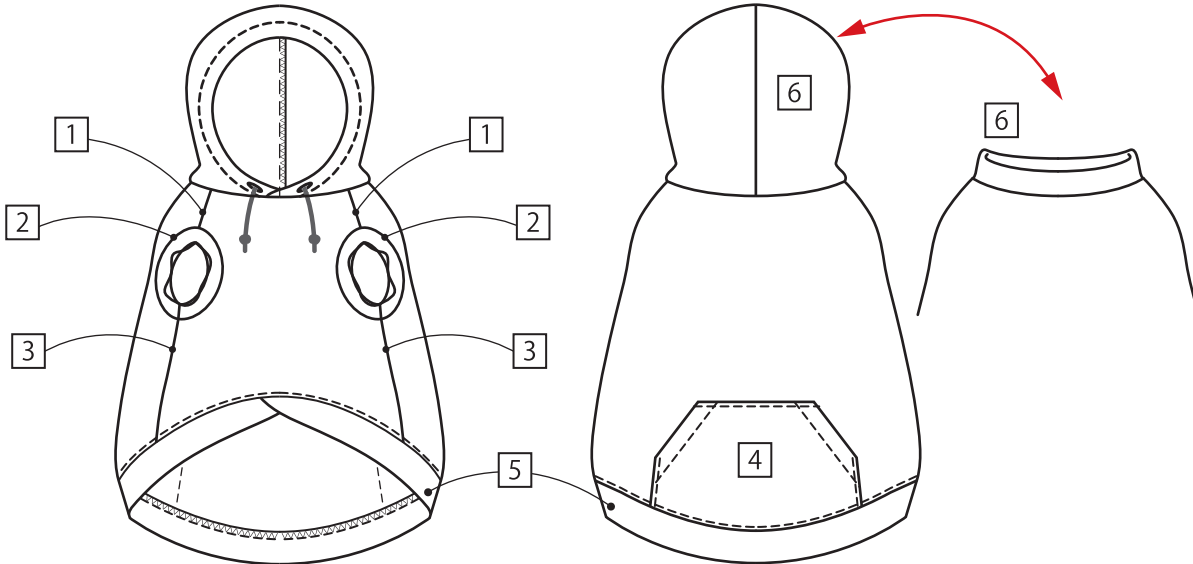
重ね合わせる生地どうしの  
 合わせ位置。  
 パターン上に印有り。



アイロン

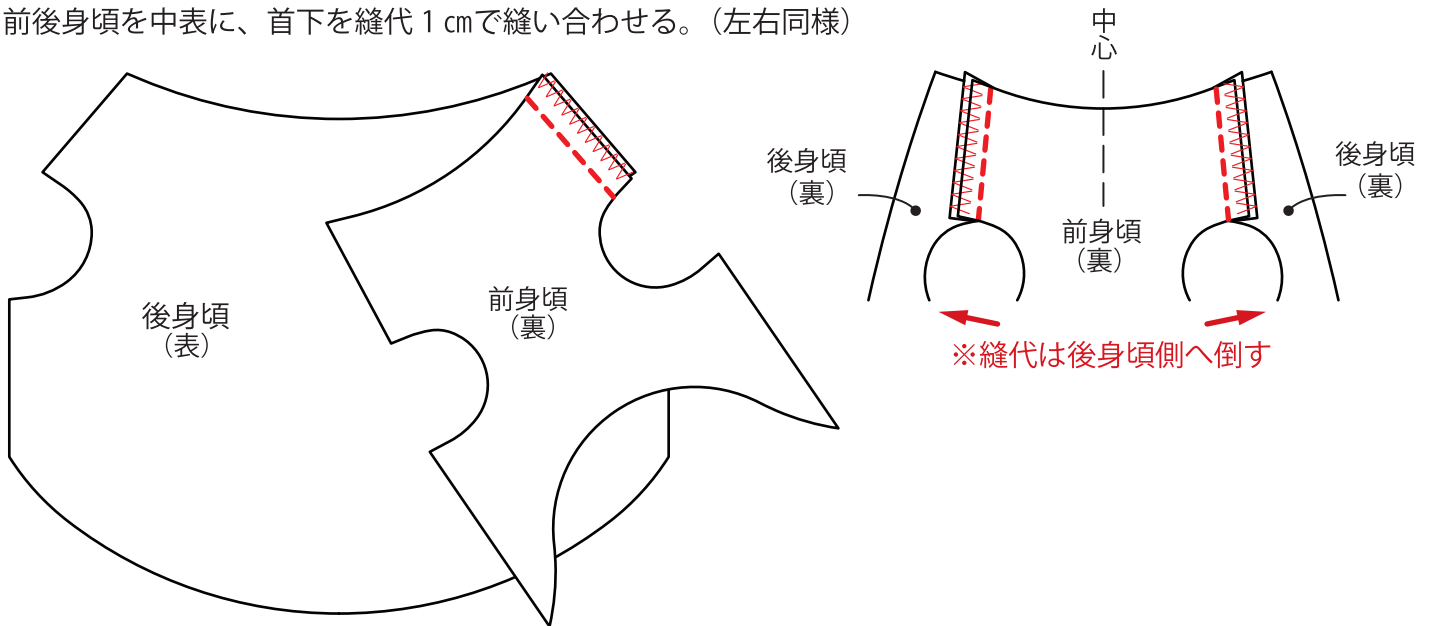
縫代の仕付けや、芯の接着  
 折り目の成形に使用。

※**6**フード or リブ 2タイプあり



**1** 前後身頃の首下を縫い合わせる

前後身頃を中表に、首下を縫代 1 cm で縫い合わせる。(左右同様)

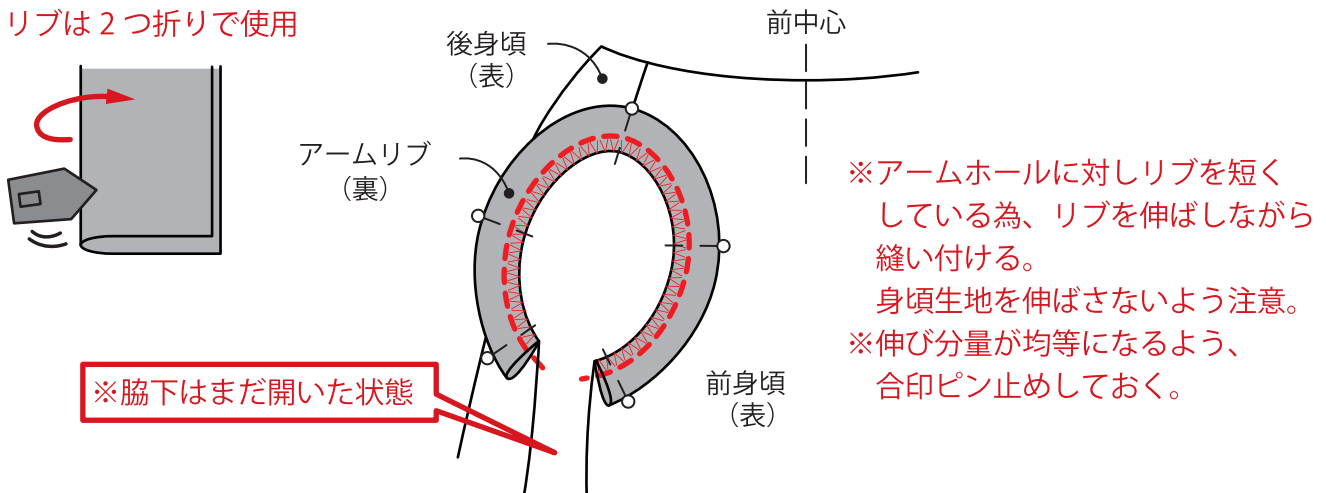


**2** アームリブを縫い付ける

※リブはご使用生地の伸縮率に合わせて長さを調整して下さい。

リブと身頃アームホールを重ね、アームホール脇下から縫代 1 cm で縫い付ける。(左右同様)

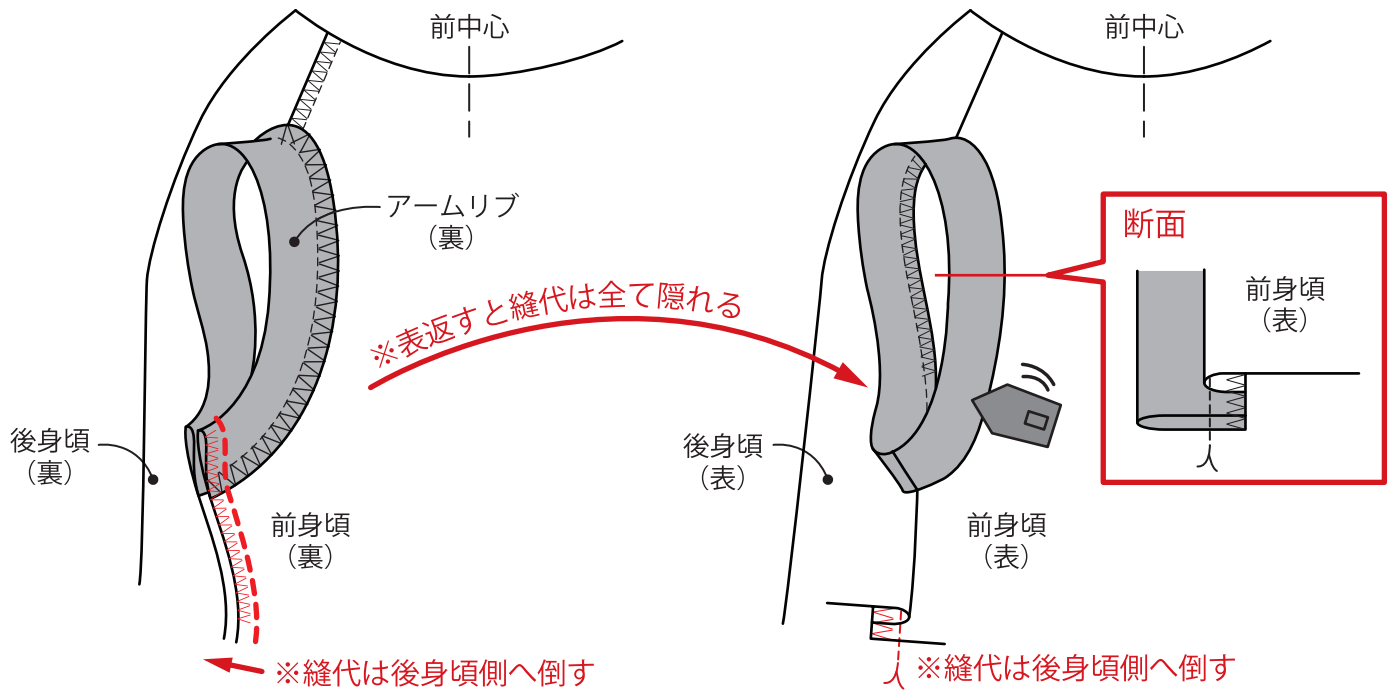
※リブは2つ折りで使用



※アームホールに対しリブを短くしている為、リブを伸ばしながら縫い付ける。  
 身頃生地を伸ばさないよう注意。  
 ※伸び分量が均等になるよう、合印ピン止めしておく。

### 3 アームリブ底、脇下を縫い合わせる

身頃中表の状態にし、リブ底と前後身頃の脇下を縫代1cmで同時に縫い合わせる。(左右同様)

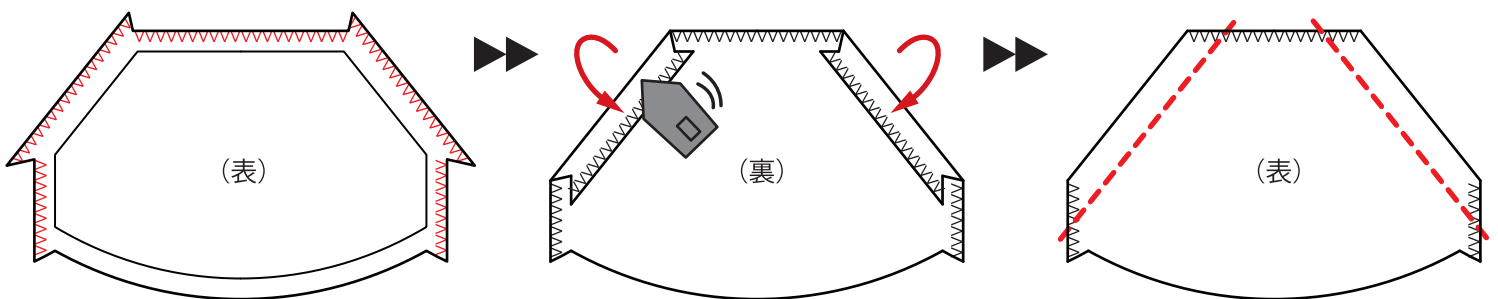


### 4 カンガルーポケット

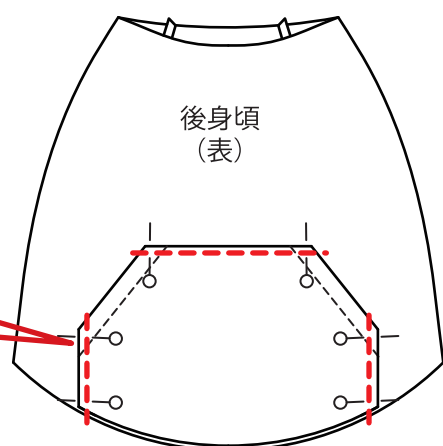
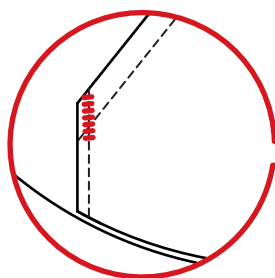
① 下以外の布端をロック  
またはジグザグでかがる。

② ポケット口を裏側へ倒す。

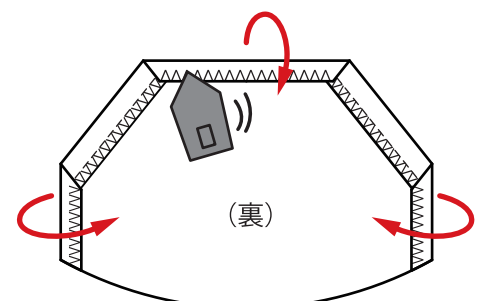
③ ポケット口を縫い押さえる。



※ポケット口はカン止めや  
返し縫いで補強する。



④ 上側・横側を裏側へ倒す。



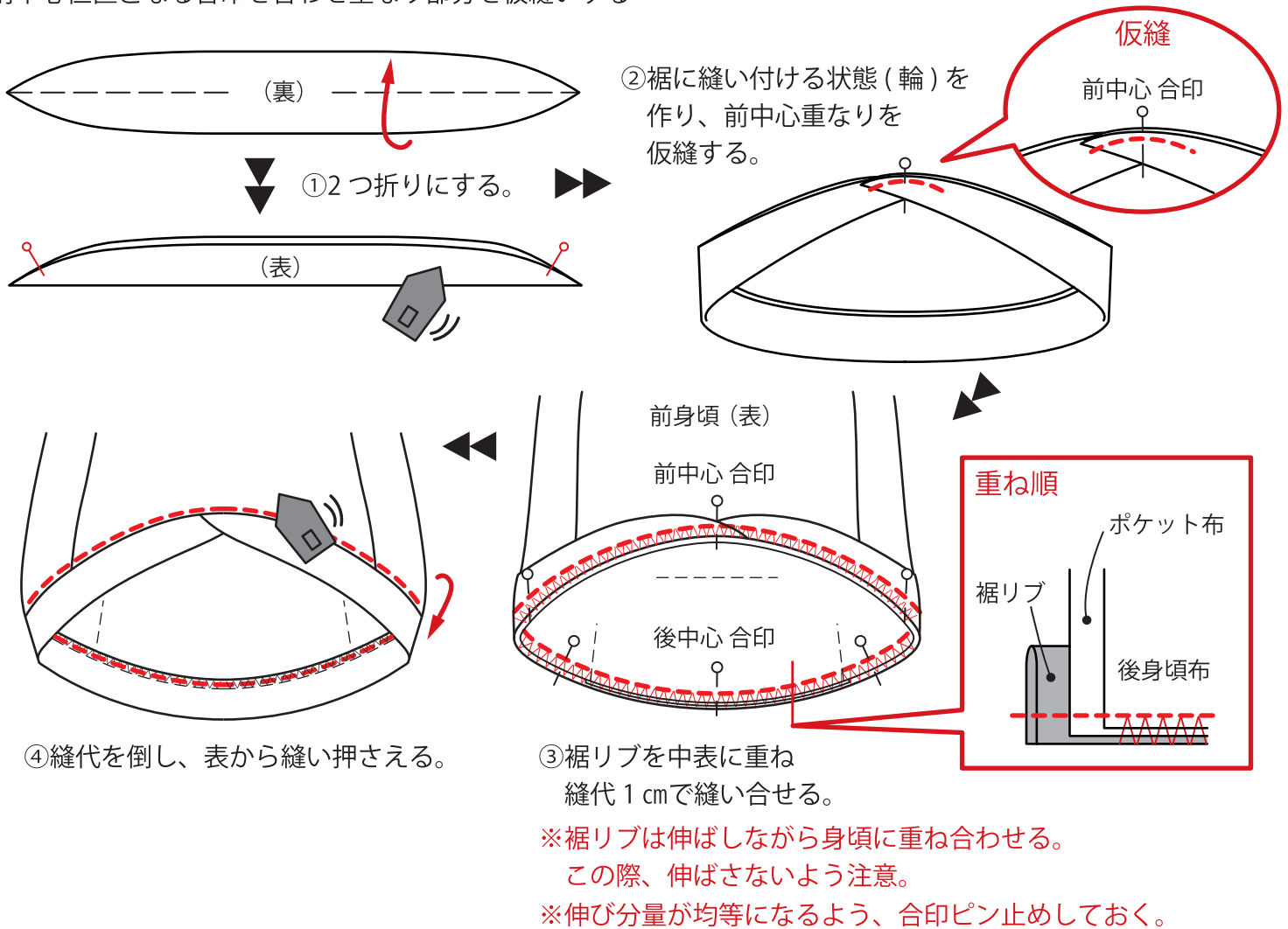
⑤ 後身頃ポケット位置にポケット布を重ね  
上端・横端を縫い付ける。

※ピンで位置を固定。

※同時に前身頃を縫い合わせないように注意する。

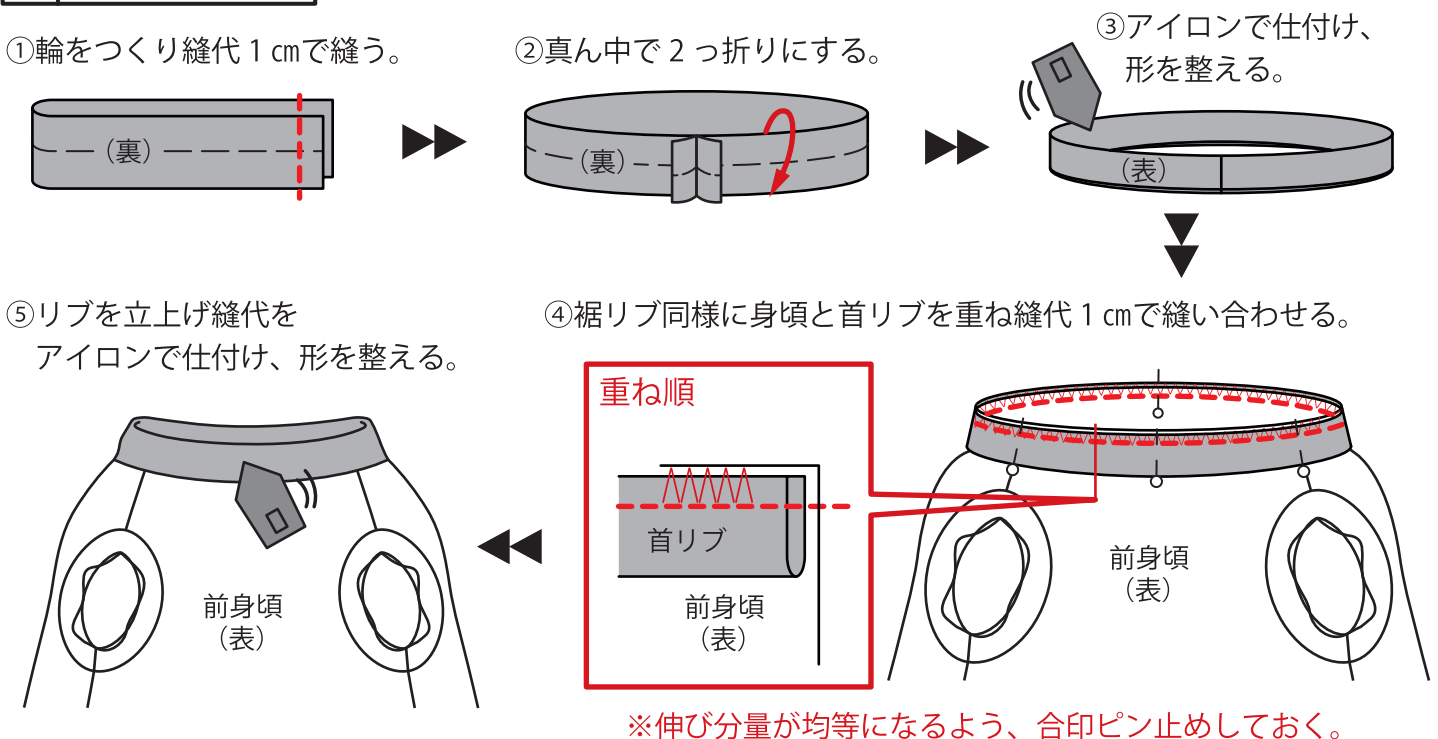
## 5 裾リブ

下図のように真ん中で2つ折りにしアイロン仕付け、ベルト巻きの形を作る。  
 前中心位置となる合印を合わせ重なり部分を仮縫いする



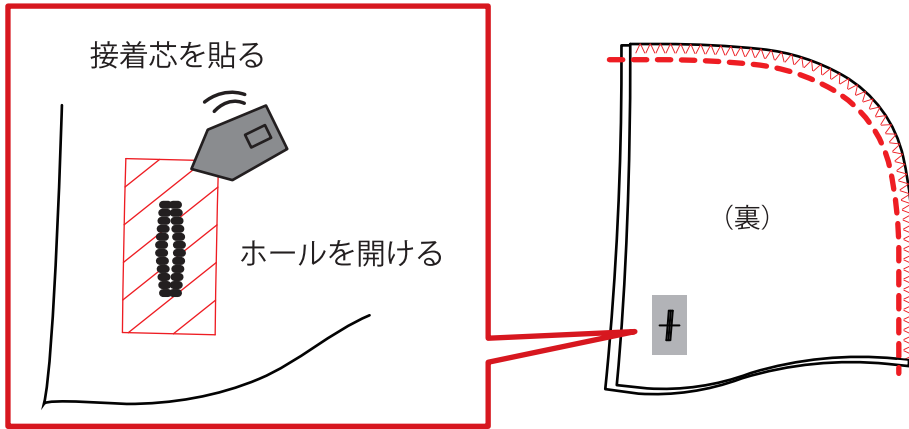
## 6 首リブの場合

※リブはご使用生地伸縮率に合わせて長さを調整して下さい。

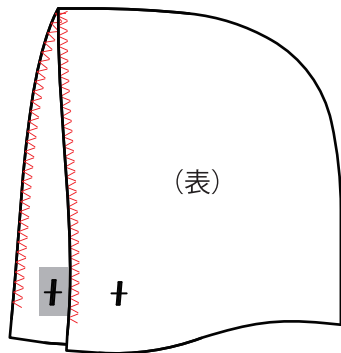


6 フードの場合

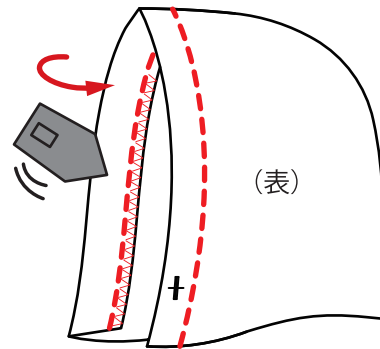
①接着芯を貼り、紐通し用のホールを開ける。(釦ホールでかがる。)  
 中表に合わせ縫代1cmで縫い合わせて、布端をかがる。



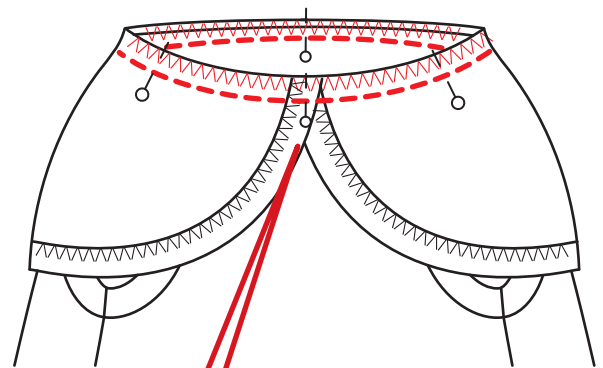
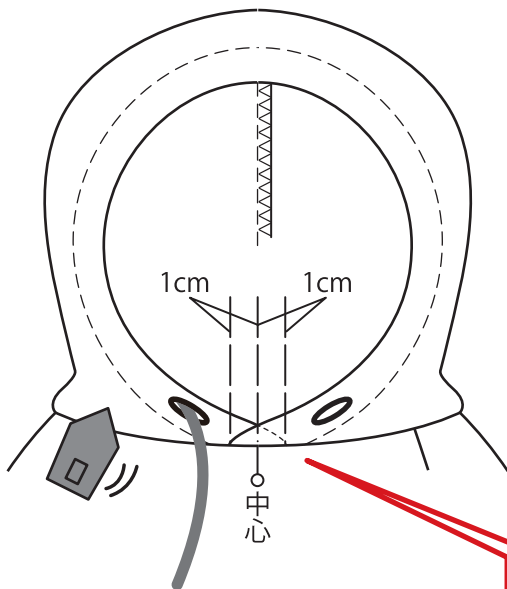
②表返してフード口の端をかがる。



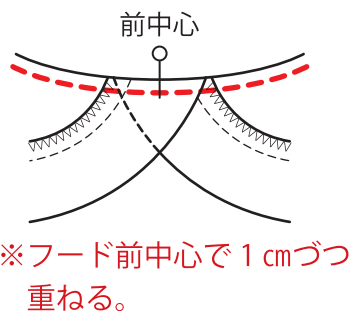
③フード口を内側に折込み  
 2cm幅ステッチで縫い押さえる。



④フードと身頃を中表に重ね、衿ぐり縫代1cmで縫い合わせる。  
 ※合印ピン止めしておく。



⑤フードを立上げ、縫代をしつける。  
 フード口に紐を通して出来上がり。



※フード前中心で1cmずつ  
 重ねる。